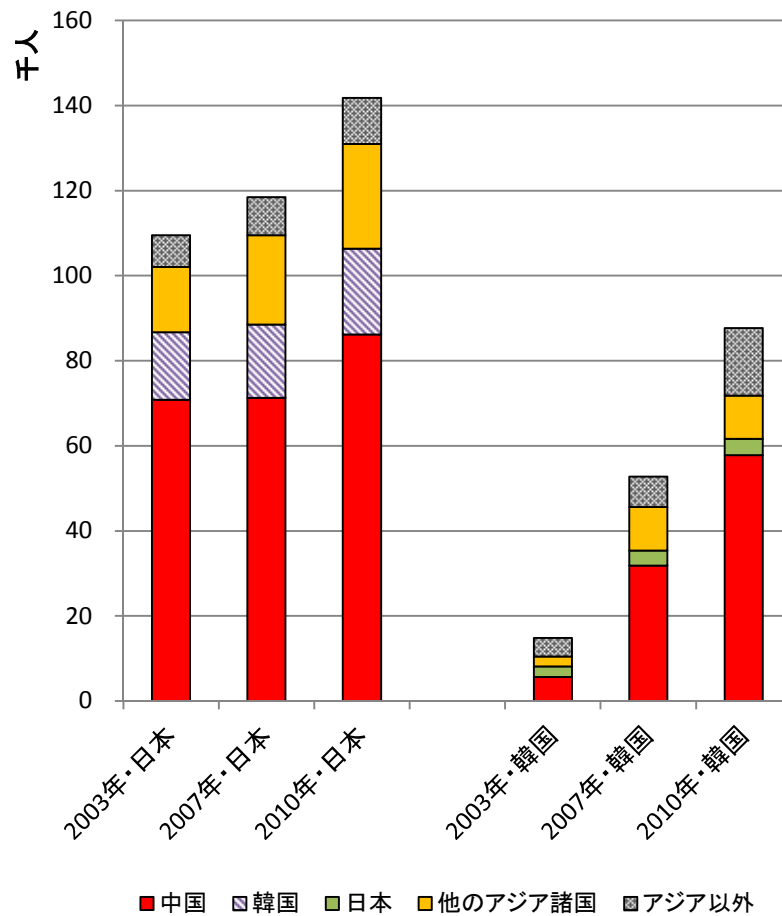
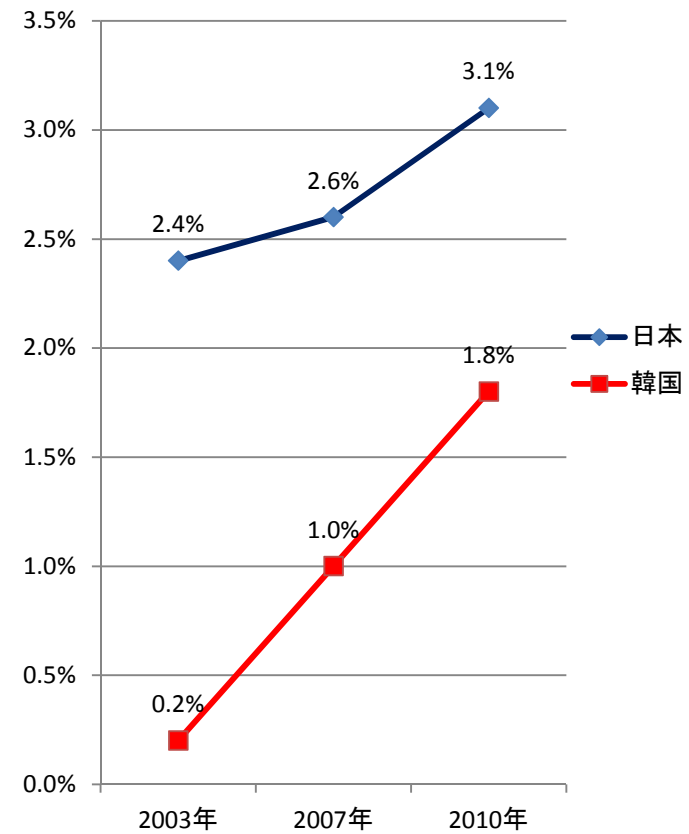


I 日韓両国の留学生受入れの概要

1) 出身国別外国人留学生数推移



2) 正規課程外国人留学生比率



3) 日韓両国の高等教育の状況比較 その1

	日本	韓国
高等教育段階就学率 (2008)	58.0%	98.1%
教員1人当たり学生数 (2010)	10.4人	32.7人
留学生の内訳 (2011)	大学院：27.7%、学部：62.3%、 研修等：10.0%	大学院：19.4%、学士：52.1% 研修：28.4%
正規課程の外国人 留学生比率 (2010)	3.1%	1.8%
同 大学院生 (2010)	12.5%	5.1%
同 学部生 (2010)	2.1%	1.5%

(定義)

正規課程：(日本)大学院、学部、短大、高専の本科生としての留学生。

(韓国)大学院及び大学校・専門大学の学位留学生

非正規課程：(日本)大学院、学部、短大、高専の本科生以外、専修学校専門課程、及び大学準備教育機関の留学生

(韓国)語学研修等の研修留学生。

4) 日韓両国の高等教育の状況比較 その2

	日本	韓国
国費（政府招聘）留学生の比率（2010）	9.2%	2.3%
留学生の首都集中率（2010）	31.3%（東京都）	37.0%（ソウル特別市）
中国出身者構成比（2010）	60.8%	68.9%

留学生増加の要因		日本	韓国
留学生増加率（2007～2010）		19.6%	70.2%
要因別寄与率（2007～2010）			
出身国別	中国	64.0%	75.1%
設置形態別	私立	74.6%	77.0%
課程別	正規課程（学部・大学院）	56.7%	80.8%
課程別・段階別	正規課程・学部	29.8%	62.3%
課程別・分野別	正規課程・人文社会系	21.6%	59.8%

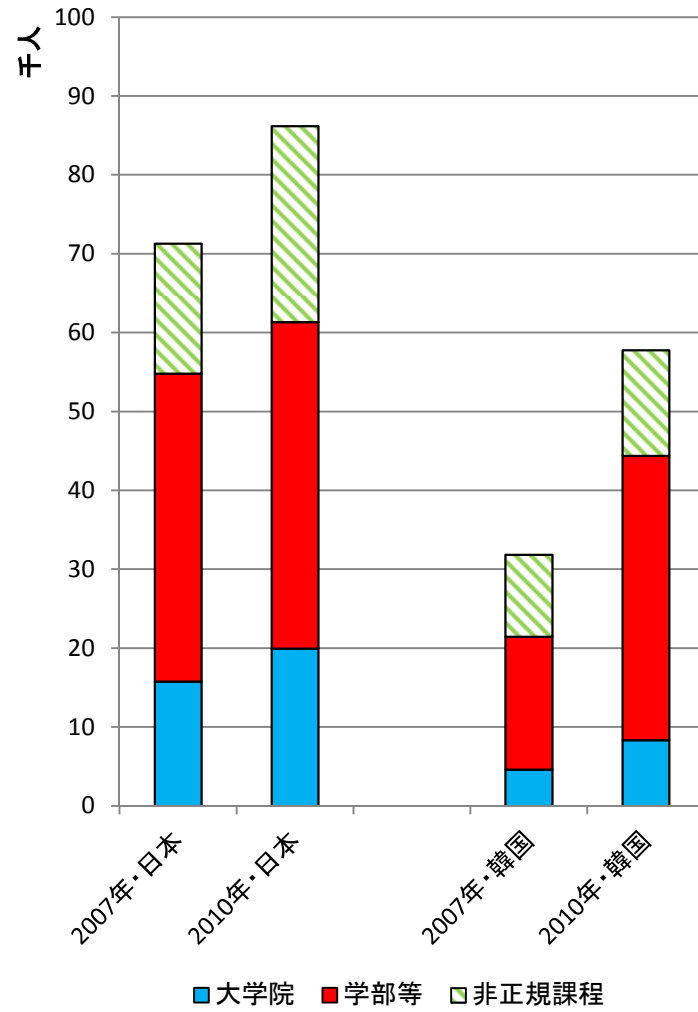
増加率の定義

一定期間の増分： $Q1 - Q0 = \text{要素a増分} + \text{要素b増分}$ とする

増加率： $(Q1 - Q0) / Q0 = (\text{要素a増分} + \text{要素b増分}) / Q0$

寄与率： $\text{要素a増分} / (\text{要素a増分} + \text{要素b増分})$

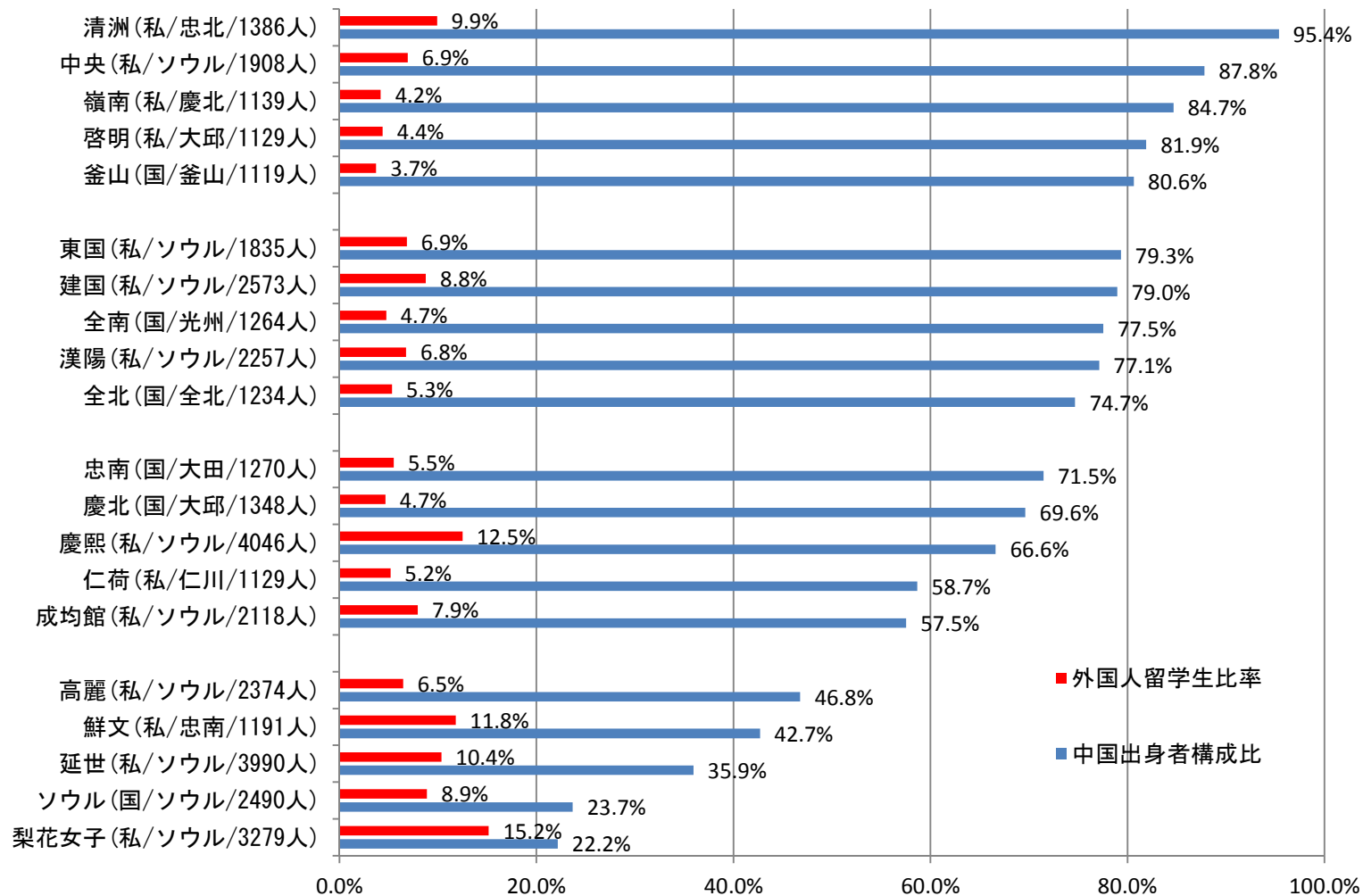
5) 中国人留学生の内訳 (学校段階別)



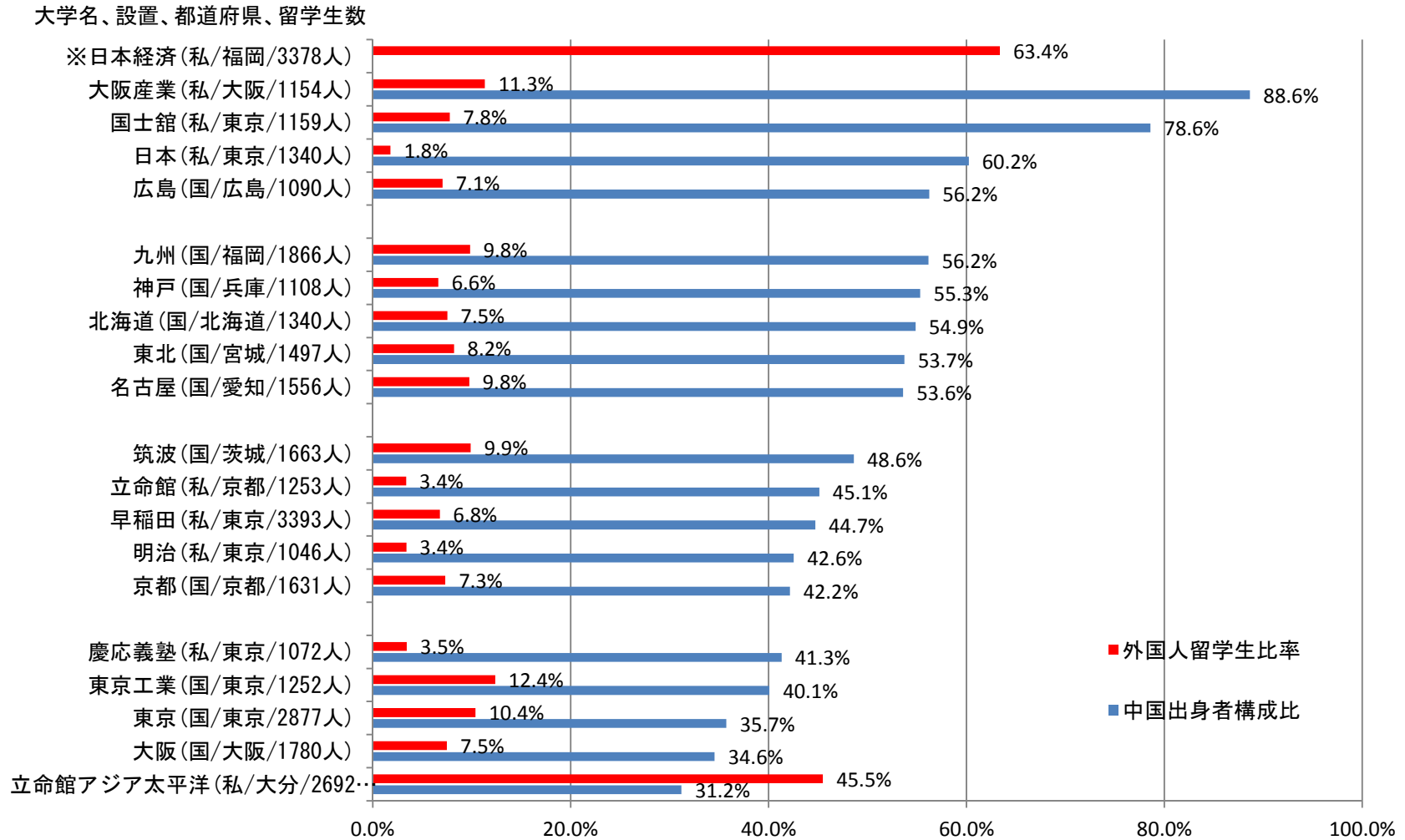
Ⅱ 留学生の多い上位20大学での比較

6) 外国人留学生の多い大学上位20校・韓国 (2011年) (留学生に占める中国出身者構成比の順)

大学名、設置、地域、留学生数

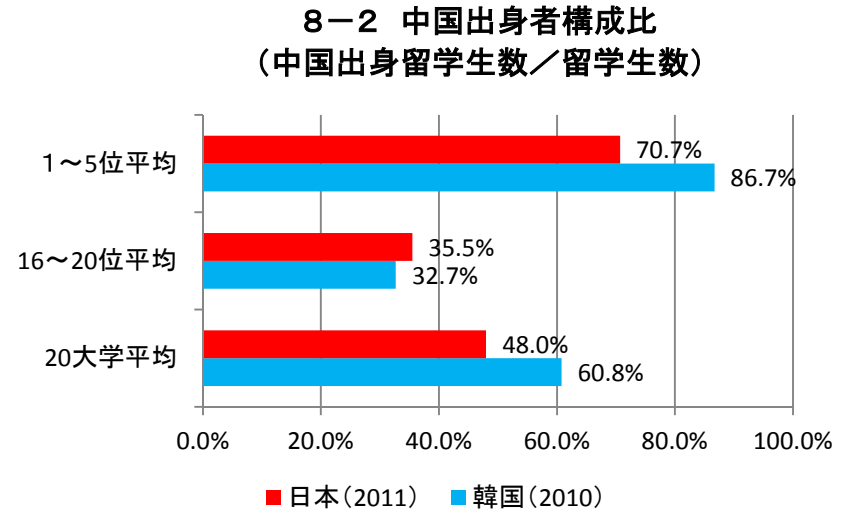
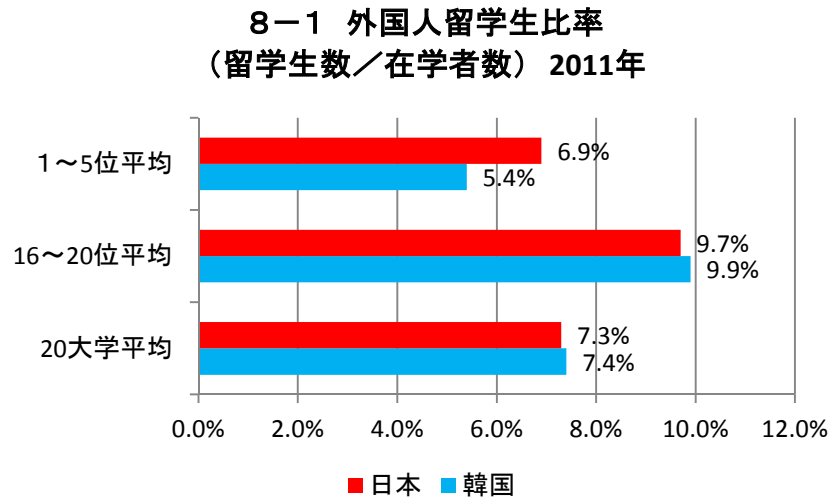


7) 外国人留学生の多い大学上位20校・日本 (2011年) (留学生に占める中国出身者構成比の順)

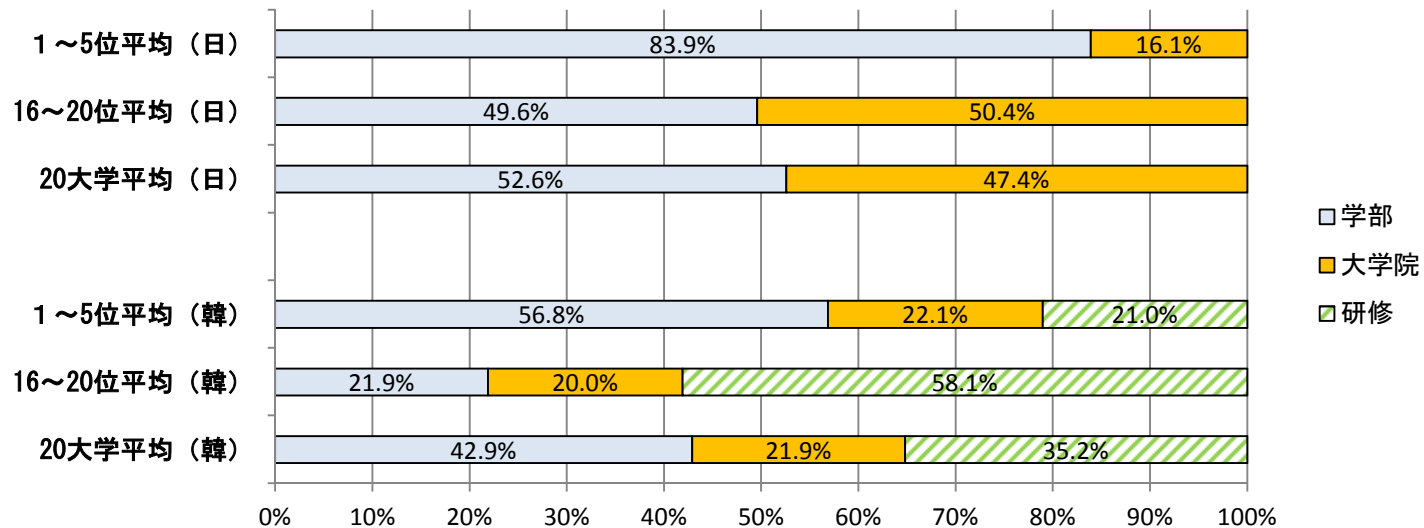


※ 日本経済大学は、出身国別の留学生数を公表していないが、中国人が殆どと見られる

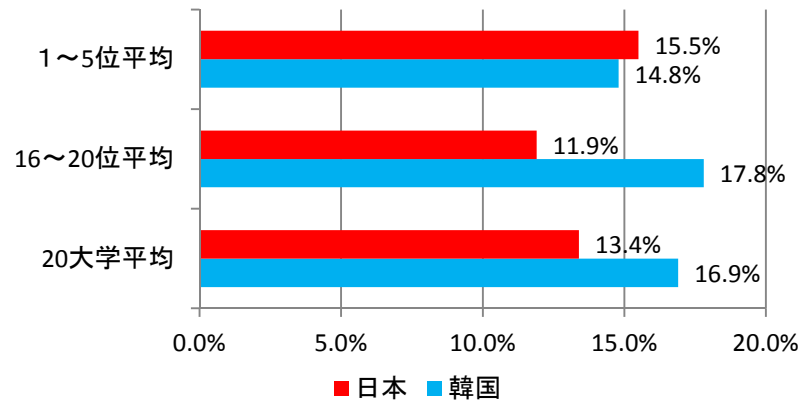
8) 留学生の多い大学20大学、中国出身者構成比順位による比較



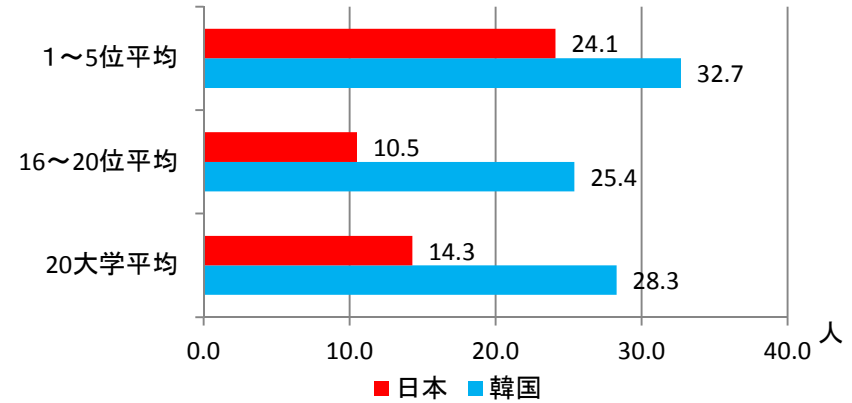
8-3 外国人留学生の内訳(2011年)



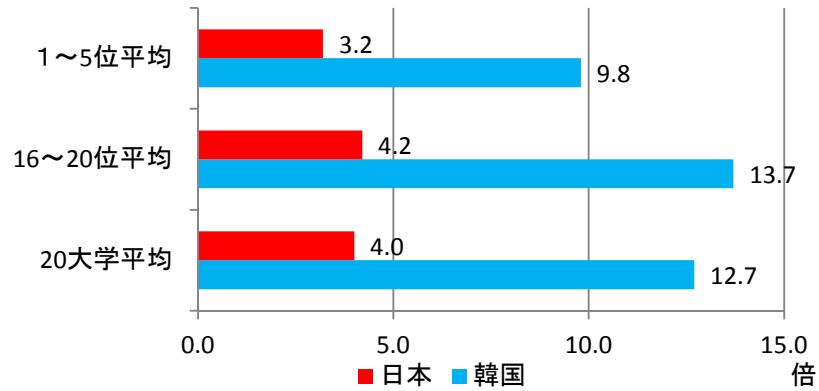
8-4 収容定員超過率(2011年)



8-5 教員1人当たり学生数(2011年)



8-6 学部(学士課程)入試競争率(2011年)



8-7 学士課程初年度納付金(韓国)

2010年、日本円換算(単位:円)

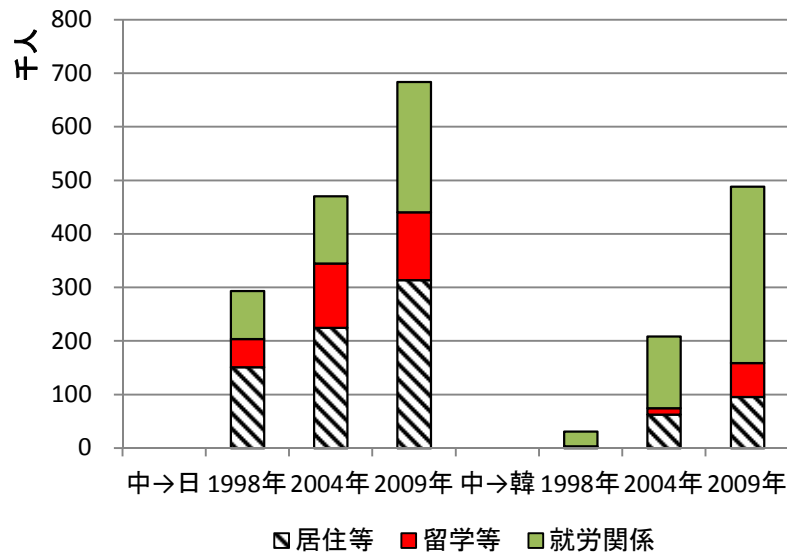
Category	1~5位平均	16~20位平均	20大学平均
Amount (円)	543,295	617,172	544,405

Ⅲ 韓国への中国人留学生が急増した原因

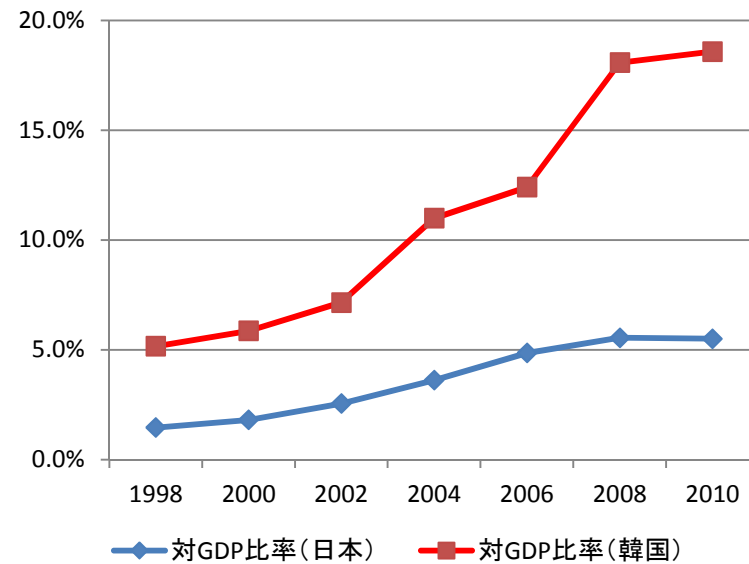
9) 大学学部（学士課程）初年度納付金の比較

	2000年		2010年	
	初年度納付金額平均 (日本円換算：単位円)	中国平均年収比（倍）	初年度納付金額平均 (日本円換算：単位円)	中国平均年収比（倍）
日本・国立	755,800	7.4	817,800	2.3
日本・私立	1,283,410	12.6	1,315,666	3.7
韓国・国公立・ 人文社会	232,090	2.3	522,029	1.5
韓国・私立・人文社会	301,202	3.0	433,492	1.2
韓国・国公立・ 自然科学	427,957	4.2	469,118	1.3
韓国・私立・自然科学	391,725	3.8	653,464	1.8

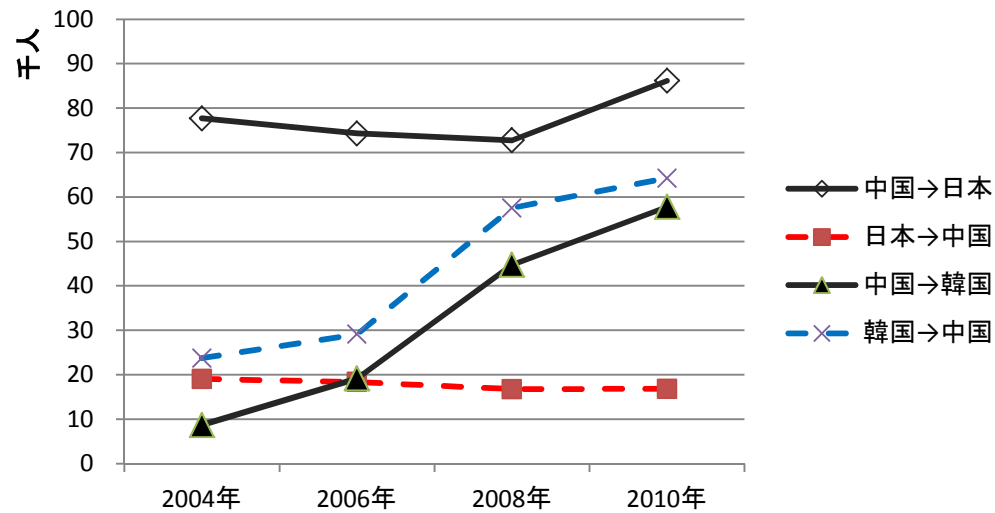
10) 中国からの移民人口の推移(非永住者)



11) 対中国貿易額の状況比較



12) 日韓各国と中国との留学生移動状況の推移



13) 国際的大学排名における比較 (日韓両国の大学)

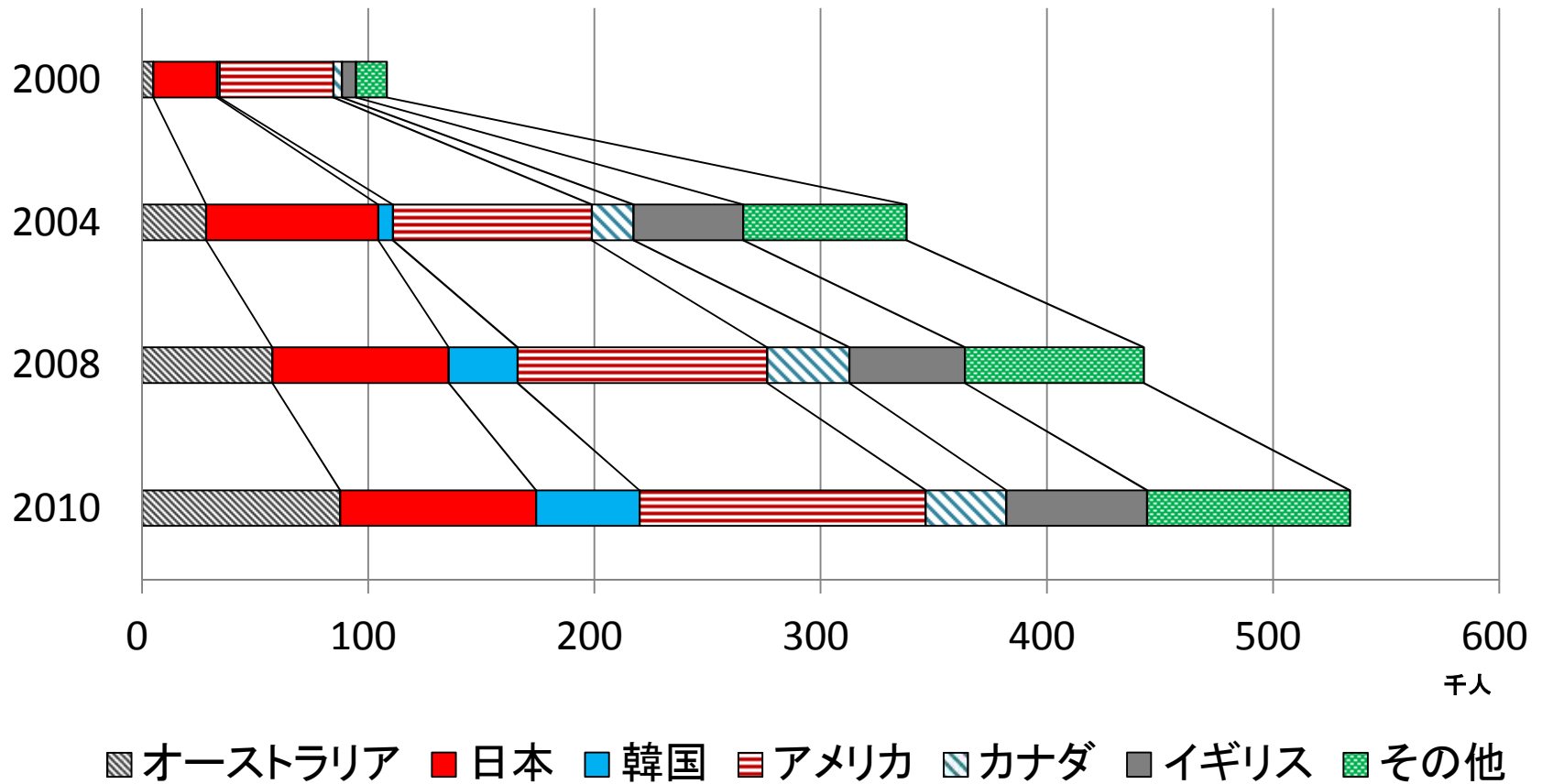
QS世界大学排名

2007年		2010年		順位変動
大学名 (国)	順位	大学名 (国)	順位	
東京大学 (日)	17	東京大学 (日)	30	-13 ↓
京都大学 (日)	25	京都大学 (日)	35	-10 ↓
大阪大学 (日)	46	国立ソウル大学 (韓)	37	+14 ↑
国立ソウル大学 (韓)	51	大阪大学 (日)	50	-4 ↓
東京工業大学 (日)	90	KAIST (韓)	63	+59 ↑
東北大学 (日)	102	東京工業大学 (日)	65	+35 ↑
名古屋大学 (日)	112	東北大学 (日)	75	+27 ↑
KAIST (韓)	132	名古屋大学 (日)	86	+26 ↑
九州大学 (日)	136	浦項工科大学 (韓)	97	+137 ↑
北海道大学 (日)	151	延世大学 (韓)	112	+124 ↑

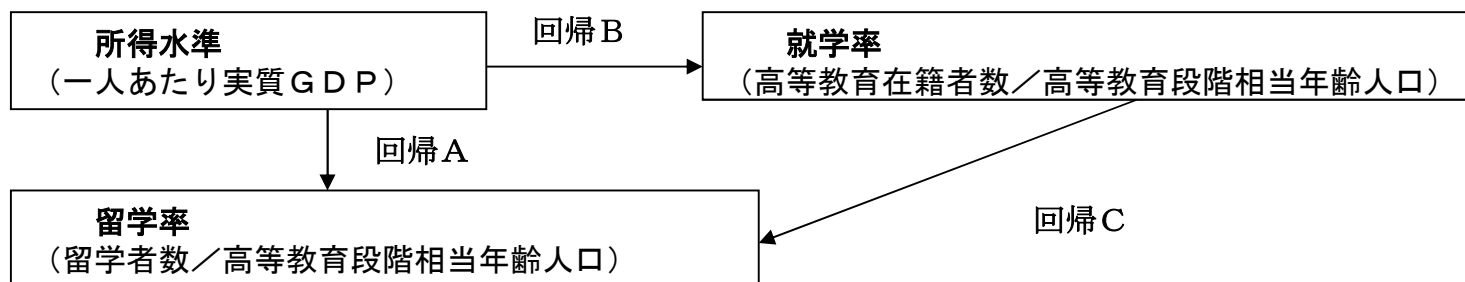
注) 大学名の太字は、受入れ外国人留学生数上位20位以内にある大学

IV 将来予測モデル推計

14) 中国人留学生の留学先(OECD諸国)



15) 推計手法



16) 中国 将来推計チャート 1

年	データ			回帰推計値		
	所得水準	就学率	留学率	予想留学率Ⅰ	就学率	予想留学率Ⅱ
				回帰A	回帰B	回帰C
1999年	1,060	6.6%	0.09%	0.11%	7.63%	0.07%
2000年	1,141	7.8%	0.11%	0.14%	9.11%	0.11%
:						
2008年	2,446	22.7%	0.35%	0.39%	24.57%	0.35%
2010年	2,897		0.49%	0.45%	28.00%	0.40%
2015年	4,488			0.59%	36.87%	0.46%
2020年	5,461			0.66%	40.85%	0.48%
2025年	6,644			0.73%	44.82%	0.50%

注1) 所得水準は米ドル換算
単位: 1米ドル

注2) 斜数字は、2008年までの
データに基づく推計値

(回帰係数)

回帰A (所得水準と留学率)

$$Y = -0.0221 * \ln X + 0.0033 \quad (Y : \text{留学率、} X : \text{所得水準})$$

決定係数 (R二乗値) : 0.8607

回帰B (所得水準と就学率)

$$Y = 0.027 * \ln X - 1.3355 \quad (Y : \text{就学率、} X : \text{所得水準})$$

決定係数 (R二乗値) : 0.9547

回帰C (就学率と留学率)

$$Y = 0.0068 * \ln X + 0.0023 \quad (Y : \text{留学率、} X : \text{就学率})$$

決定係数 (R二乗値) : 0.9619

17) 中国 将来推計チャート 2

年	所得水準	高等教育段階相当 年齢人口 (千人)	予想留学率平均	予想留学生数 (千人)
2008年 (実績)	2,897	112,656	0.43%	484
2015年	4,488	99,891	0.53%	529
2020年	5,461	88,947	0.57%	507
2025年	6,644	81,789	0.62%	507

注1) 2015年～2025年は推計値

2) 所得水準は米ドル換算 (単位: 1米ドル)

3) 予想留学率平均 = (予想留学率 I + 同 II) ÷ 2

(まとめ)

- 日本、韓国、中国だけでなく、ASEAN諸国を含む東アジア全域において人口高齢化、若者人口の減少が今後急速に進展。大学生相当年齢人口が減少。
- 中国等、東アジア諸国における高等教育機関が整備され、留学しなくても高レベルの高等教育を受けられる機会が増える。中国等、東アジア地域の留学生数が伸び悩む可能性
- 中国人留学生の受け入れ先として欧米諸国に加え、香港、シンガポール、オーストラリアが有力な競争相手として台頭。
- 韓国語人口は日本語人口の半分くらいしかない。日本語以上に、国際言語とは言いがたい。しかし、韓国語を学びつつ、韓国における留学経験を持つことが有効と考えている中国人が増えてきている。
- 職業やビジネスにとって留学経験が有利となると見込まれる国に留学を志向する。金にならない留学はしない。日本語及び日本での留学経験は、中国人学生にとって魅力を維持し続けるか。
学部段階留学では、学費等、経費が安くて済む韓国への留学を望む者が増えてきている。